

広島大学埋蔵文化財

調査研究紀要

第 3 号

2012

表紙デザイン

表紙（表）は鏡西谷遺跡C地区出土の同安窯青磁・皿および横田賢次郎・森田勉（1978）掲載の大宰府跡出土龍泉窯系青磁碗を利用して図案化した。表紙（裏）は鏡西谷遺跡E地区出土の絵画土器（弥生土器）を利用して図案化した。

広島大学埋蔵文化財

調 査 研 究 紀 要

第 3 号

2012

広島大学埋蔵文化財調査室

序 文

埋蔵文化財調査室は2011年5月に総合博物館と統合し、総合博物館埋蔵文化財調査部門となった。これまでと同様に広島大学の開発に伴う埋蔵文化財業務を担っていくと同時に、これまで独自に行ってきた教育・普及活動をこれからは展示情報・研究企画部門と連携しながら総合博物館の活動の一環として実施していくこととなった。また、学芸員養成課程が2012年度から新たなカリキュラムを編成することに伴い、総合博物館がその推進に重要な役割を果たすこととなり、埋蔵文化財調査部門と展示情報・研究企画部門が協力してその任にあたることとなった。これまでも埋蔵文化財調査室の業務は多岐にわたっていたが、新たな重要な業務が加わり、構成員一同気持ちを新たにしているところである。

さて、これまで埋蔵文化財調査室の調査研究については、毎年の活動概要を『統合移転地埋蔵文化財調査年報』において報告してきたが、2002年度から統合移転に伴う発掘調査の報告を年次計画で刊行する業務で代用してきた。発掘調査報告書の刊行も2007年度で完了し、調査室の調査研究活動の概要報告を行う必要に迫られたが、調査室の業務が開発に伴う大学内の発掘調査から立会い調査、試掘調査に主体が移ったことともに、約20年間におよぶ発掘調査に伴って膨大な資料が蓄積され、その保管管理、展示公開が重要な業務となったこと、東広島キャンパス内には大学当局の英断から多くの遺跡が保存されており、その保管管理と整備公開が必要となったことなど、調査研究、普及活動が重要な業務となってきたことから、2008年度から新たに『調査研究紀要』を刊行して上記の活動に伴う成果報告を行ってきたところである。

このたびの総合博物館との統合に伴い、『広島大学埋蔵文化財調査研究紀要』と改名して第3号刊行の運びとなった。第3号は、これまでと同様に、

研究編、調査編、付編の3部で構成している。研究編では、広島大学東広島キャンパス農場地区造成に伴って発掘調査を実施した鏡西谷遺跡をはじめとする鏡遺跡群から出土した中世須恵器を取り上げ、西条盆地を中心とする広島県西部（安芸地方）の関連資料を集成して考察を行った。調査編では2008年度の開発に伴う立会・試掘調査を中心とした埋蔵文化財関連業務の概要を収録している。付編には調査室が2008年度に実施した教育・普及・研究活動の概要を報告した。

埋蔵文化財に係わる業務は、開発に伴う埋蔵文化財関連業務、出土遺物・保存遺跡の保管・管理、出土遺物・保存遺跡の公開・展示、保管遺物を中心とする学術研究、学部教育・普及活動の大きく5つに整理される。近年、霞地区の再開発などに伴って埋蔵文化財関連業務は多忙を極めており、『調査研究紀要』の刊行も3年遅れとなっているが、これまで内容が不明確であった霞地区の旧陸軍広島兵器補給廠関連遺構やそれ以前の縄文時代～近世の遺物・遺構が確認され、広島湾の地形変遷を解明する手がかりが得られるなど、重要な成果が上がりつつある。また、東広島キャンパスは各所に保存されており、その一部について年次計画で遺跡の整備を行っているところである。これらの活動成果は第3号にも収録している。

今後とも大学に課せられた責務の一端を滞りなく実施するとともに、今回の総合博物館との統合が一層の発展をもたらすよう努力していく所存である。また、教育委員会など関係諸機関と連携して社会貢献にも力を入れたいと考えている。皆様のご支援とご協力をお願い申し上げる次第である。

2012（平成24）年3月

広島大学総合博物館

埋蔵文化財調査部門長

藤野次史

例 言

1. 本書は、研究編、調査編、付編からなる。研究編は、広島大学キャンパス内遺跡および出土遺物、広島大学寄贈・寄託遺物の研究をはじめ、これに関連する幅広い遺跡・遺物の研究を目的としている。調査編は、各年度に行った広島大学キャンパス内の開発に伴う協議事項および立会調査、試掘調査、発掘調査の概要報告である。付編は、各年度に埋蔵文化財調査室ならびに調査室構成員が行った普及・研究活動の概要と調査室設置要項などを収録した。
2. 研究編では、1979年度～1982年度に予備調査、発掘調査を実施した鏡地区出土の中世須恵器を中心に取り上げ、安芸地方の様相を検討した。
3. 調査編は、2008年度において、東広島地区（東広島市）、総合グランド地区（東広島市）、霞地区（広島市）、翠地区（広島市）、福山地区（福山市）、帝釈地区（庄原市）の開発に伴って実施した協議事項と立会調査、試掘調査の概要である。
4. 付編は、2008年度の普及・研究活動の概要を収録した。また、2011年5月1日埋蔵文化財調査室は総合博物館と合併した。これに伴い、埋蔵文化財調査室は、総合博物館埋蔵文化財調査部門となり、総合博物館の規則で規定されることとなった。また、埋蔵文化財の取り扱いについては、統合以前は財務・総務担当理事を座長とする施設マネジメント会議の中で審議されてきたが、埋蔵文化財調査室が博物館と統合したことから、あらたに総合博物館運営委員会のもとに埋蔵文化財調査専門委員会を設置し、広島大学における埋蔵文化財の取り扱いについて審議することとなった。このことから、新たな規定についても収録した。調査室構成員については、本書の作成に関わった2008～2011年度の構成員全てを載せている。
5. 2008年度の立会・試掘調査は、広島大学が所在する市町教育委員会と協議・協力をを行い、広島大学施設部の協力を得て実施した。調査は、藤野次史が行い、永田千織が補佐した。
6. 研究編、調査編に関わる整理作業は、2008・2009年度が、藤野、永田、岩本三津子、2010年度が、藤野、八幡浩二、永田、岩本、2011年度が、藤野、永田、山手貴生、岩本が行った。
7. 研究編に関わる遺物の実測は、楨林、手島、永田、山手が行い、遺物に関する図面は、永田が浄書した。研究編、調査編に関わる遺物以外の図面は、藤野が作成、浄書した。写真図版の作成は藤野が行った。
8. 調査編に利用した広島大学各キャンパスの建物配置図等は広島大学施設部から提供された図面を利用して作成した。
9. 本書の執筆は、研究編を、藤野・永田が、そのほかを藤野が行い、全体にわたって山手が補佐した。

10. 本書の編集は藤野が行った。
11. 本書を作成するにあたり、広島県立歴史博物館鈴木康之、東広島市教育委員会妹尾周三、同吉野健志の各氏から有益なご意見を賜った。また、資料実見にあたり、広島大学考古学研究室、兵庫県立考古博物館、岡山県古代吉備文化財センター、広島県教育委員会、広島県立歴史博物館、(財)広島県教育事業団事務局埋蔵文化財調査室、(財)広島市未来都市創造財団文化科学部文化財課、東広島市教育委員会、(財)東広島文化振興事業団文化財センター、(財)安芸高田市地域振興事業団、府中町教育委員会、海田町教育委員会には便宜を図っていただいた。
12. 研究編で取り上げた鏡西谷遺跡、鏡東谷遺跡、鏡千人塚遺跡の遺物は、広島大学総合博物館（埋蔵文化財部門）が保管している。

広島大学埋蔵文化財
調査研究紀要第3号

目 次

第1部 研究編

安芸地方における中世須恵器の研究

－西条盆地の出土資料を中心として－

永田千織・藤野次史…………… 1

1. はじめに……………	1
2. 広島大学東広島キャンパスの中世須恵器と出土状況……………	2
I. 鏡西谷遺跡	
1) B地区	
2) C地区	
3) D地区	
4) G・E地区	
II. 鏡東谷遺跡	
1) 北地区	
2) 南地区	
III. 鏡千人塚遺跡	
IV. 試掘調査に伴う鏡地区出土の須恵器	
3. 鏡遺跡群出土中世須恵器の特徴……………	27
1) 出土須恵器の分類	
2) 鏡遺跡群における中世須恵器の出土状況	
3) 鏡遺跡群における中世須恵器の時期と組成	
4. 安芸地方における中世須恵器と遺跡の様相……………	50
1) 安芸地方における中世須恵器研究抄史	
2) 安芸地方出土の中世須恵器	
3) 安芸地方における中世須恵器の出土状況と位置づけ	
5. おわりに……………	75

第2部 調査編

開発に伴う協議と立会・試掘調査の概要（2008年度）	117
1. はじめに	117
2. 試掘・立会調査の概要	120
3. 調査の成果	148

付 編

1. 普及・研究活動	149
2. 埋蔵文化財調査室の組織	154
3. 総合博物館埋蔵文化財調査部門の組織	156

挿図目次

- 第1図 広島大学東広島キャンパス鏡地区の中世遺跡と鏡山城跡
- 第2図 鏡西谷遺跡調査区配置図
- 第3図 鏡西谷遺跡B地区・C地区中世須恵器出土状況
- 第4図 鏡西谷遺跡B地区出土中世須恵器実測図
- 第5図 鏡西谷遺跡C地区S B 01 出土中世須恵器実測図 (1)
- 第6図 鏡西谷遺跡C地区S B 01 出土中世須恵器実測図 (2)
- 第7図 鏡西谷遺跡C地区S B 01 出土中世須恵器実測図 (3)
- 第8図 鏡西谷遺跡C地区出土中世須恵器実測図 (1)
- 第9図 鏡西谷遺跡C地区出土中世須恵器実測図 (2)
- 第10図 鏡西谷遺跡D地区・E地区・G地区中世須恵器出土状況
- 第11図 鏡西谷遺跡D地区出土中世須恵器実測図
- 第12図 鏡西谷遺跡E地区出土中世須恵器実測図
- 第13図 鏡西谷遺跡G地区出土中世須恵器実測図
- 第14図 鏡東谷遺跡中世須恵器出土状況
- 第15図 鏡東谷遺跡出土中世須恵器実測図
- 第16図 鏡千人塚遺跡出土中世須恵器実測図
- 第17図 鏡地区の試掘調査区（広島県教育委員会）と中世須恵器の出土状況
- 第18図 鏡遺跡群試掘調査地区（広島県教育委員会）出土中世須恵器実測図
- 第19図 鏡遺跡群出土の東播系捏鉢口縁部形態分類模式図
- 第20図 鏡遺跡群出土の産地不明須恵器碗・杯口縁部形態分類模式図
- 第21図 東播系須恵器および亀山焼編年図
- 第22図 西条盆地の中世遺跡と中世須恵器出土遺跡分布図
- 第23図 西条盆地地域出土の中世須恵器 (1)
- 第24図 西条盆地地域出土の中世須恵器 (2)
- 第25図 西条盆地地域出土の中世須恵器 (3)
- 第26図 西条盆地地域出土の中世須恵器 (4)
- 第27図 西条盆地地域出土の中世須恵器 (5)
- 第28図 西条盆地地域出土の中世須恵器 (6)

- 第 29 図 西条盆地地域出土の中世須恵器 (7)
- 第 30 図 安芸国における中世須恵器出土遺跡分布図
- 第 31 図 広島大学の校地所在地図 (職員宿舎を除く)
- 第 32 図 2008 年度東広島地区の立会調査位置図
- 第 33 図 山中池南遺跡第 2 地点保存区整備工事平面図
- 第 34 図 山中池南遺跡第 2 地点保存区補足整備工事平面図
- 第 35 図 西条総合グラウンド便所ほか工事平面図
- 第 36 図 2008 年度霞地区の立会・試掘調査位置図
- 第 37 図 霞地区基幹整備工事駐輪場移設第 1 地区平面図
- 第 38 図 地区基幹整備 (原医研研究棟解体等) 工事位置図
- 第 39 図 霞地区基幹整備 (原医研研究棟解体等) 調査区位置図
- 第 40 図 大学病院入院棟周辺植栽移設工事 (移設先) 位置図
- 第 41 図 大学病院入院棟周辺植栽移設工事 (移設元) 位置図
- 第 42 図 大学病院入院棟周辺植栽移設工事No. 1 地点検出石組溝実測図 (1 : 50)
- 第 43 図 大学病院入院棟南側ガス管改修工事位置図
- 第 44 図 共同溝敷設工事位置図
- 第 45 図 2008 年度霞地区の立会・試掘調査位置図
- 第 46 図 小学校校舎増築工事位置図
- 第 47 図 山中池南遺跡第 2 地点保存区整備平面図

表目次

- 第 1 表 鏡西谷遺跡 C 地区出土東播系須恵器捏鉢・甕調査区別出土状況一覧表
- 第 2 表 鏡西谷遺跡 C 地区出土亀山焼捏鉢・甕調査区別出土状況一覧
- 第 3 表 西条盆地地域出土の中世須恵器一覧表
- 第 4 表 広島湾沿岸地域・沼田川下流域・芸北地域出土の中世須恵器一覧表
- 第 5 表 鏡遺跡群出土中世須恵器一覧表 (1)
- 第 6 表 鏡遺跡群出土中世須恵器一覧表 (2)
- 第 7 表 鏡遺跡群出土中世須恵器一覧表 (3)
- 第 8 表 鏡遺跡群出土中世須恵器一覧表 (4)

- 第9表 鏡遺跡群出土中世須恵器一覧表 (5)
第10表 鏡遺跡群出土中世須恵器一覧表 (6)
第11表 鏡遺跡群出土中世須恵器一覧表 (7)
第12表 鏡遺跡群出土中世須恵器一覧表 (8)
第13表 鏡遺跡群出土中世須恵器一覧表 (9)
第14表 鏡遺跡群出土中世須恵器一覧表 (10)
第15表 鏡遺跡群出土中世須恵器一覧表 (11)
第16表 鏡遺跡群出土中世須恵器一覧表 (12)
第17表 鏡遺跡群出土中世須恵器一覧表 (13)

図版目次

- 図版1 鏡西谷遺跡B地区・C地区出土の中世須恵器
図版2 鏡西谷遺跡C地区 (S B 01) 出土の中世須恵器
図版3 鏡西谷遺跡C地区出土の中世須恵器
図版4 鏡西谷遺跡C地区・D地区・E地区出土の中世須恵器
図版5 鏡西谷遺跡G地区、鏡東谷遺跡、鏡千人塚遺跡出土の中世須恵器
図版6 鏡地区出土の中世須恵器

写真目次

- 写真1 盛土掘削状況
写真2 盛土掘削状況
写真3 階段部分土盛り状況
写真4 新設便所基礎掘り方掘削状況
写真5 浄化槽基礎掘り方掘削状況
写真6 浄化槽基礎掘り方完掘状況
写真7 駐輪場移設工事第1区全景
写真8 駐輪場移設工事第1区 No.4 基礎掘り方検出コンクリート基礎全景

- 写真9 駐輪場移設工事第1区 No.14 基礎掘り方検出コンクリート基礎および排水路遺構
- 写真10 高木移植のための掘り方掘削状況
- 写真11 高木植栽移設先掘り方掘削状況
- 写真12 植撤去状況（高木）
- 写真13 ガス管敷設掘り方掘削状況
- 写真14 電気配管付替掘り方掘削状況（1）
- 写真15 電気配管付替掘り方掘削状況（2）
- 写真16 研究A棟基礎柱列露出状況（2区および3区東端部）
- 写真17 2区（研究A棟）北端部西壁
- 写真18 3区（研究A棟）中央部北壁
- 写真19 4区（研究A棟）南端部西壁
- 写真20 4区（研究A棟）西壁
- 写真21 4区中央部（研究A棟）瓦片・炭化物堆積状況
- 写真22 植栽移設先全景
- 写真23 クスノキ No.1 移植用掘り方掘削状況
- 写真24 植栽移設 No.1 地点調査区全景
- 写真25 植栽移設 No.1 地点検出石組溝全景
- 写真26 植栽移設 No.1 地点検出石組溝内部
- 写真27 植栽移設 No.1 地点石組溝埋積状況
- 写真28 植栽移設 No.5 地点検出石組
- 写真29 植栽移設 No.5 地点南北石組
- 写真30 植栽移設 No.1～5 地点出土遺物（1）
- 写真31 植栽移設 No.1～5 地点出土遺物（2）
- 写真32 既設ガス管接合部分掘り方掘削状況
- 写真33 新設東西配管掘り方掘削状況
- 写真34 新設南北配管掘り方掘削状況
- 写真35 共同溝1区1次掘削完了状況（地表下約2m）
- 写真36 共同溝1区4次掘削木質堆積層露出状況（地表下約7m）
- 写真37 共同溝2区1次掘削底面貝殻（カキ主体）層露出状況（地表下約2m）
- 写真38 共同溝1区北端部堆積状況（上半部：地表～地下約3.5m）
- 写真39 共同溝3区南端部堆積状況（下半部：地表下約3.5m～約7m）

- 写真 40 植栽移設先東半部完掘状況
- 写真 41 植栽移設先東半部南壁土層断面
- 写真 42 植栽移設先東半部南壁土層断面
- 写真 43 附属小学校増築工事地区西壁
- 写真 44 附属小学校増築工事地区北壁
- 写真 45 附属小学校増築工事地区掘削状況（旧制広島高等学校造成土上面露出状況）
- 写真 46 遺構の掘り起し
- 写真 47 復元住居の盛土
- 写真 48 竈の型取り作業
- 写真 49 復元竈の設置作業
- 写真 50 復元柱穴の掘削作業
- 写真 51 復元住居表面の硬化作業
- 写真 52 復元竈の完成状況
- 写真 53 復元住居の完成状況
- 写真 54 復元住居昇降階段の設置作業
- 写真 55 復元住居昇降階段の完成状況